

2016/4/25 (Mon.) 第98号

日本医師連盟ニュース

日本医師連盟ニュース
 発行所
 日本医師連盟
 東京都文京区本駒込2-28-16
 〒113-8621
 TEL: 03-3947-7815
 FAX: 03-3947-2662
 E-mail: info01@nichiren.jp

http://www.nichiiren.jp/

定価 1年400円 (但し日医連負担金を含む)

横倉委員長、安倍総理と面談

メデイカルウイングの 本格運航に向けて要望!



左から 目黒順一北海道医師会常任理事、長瀬清北海道医師連盟委員長、安倍晋三内閣総理大臣、横倉義武委員長 (4月14日午前 総理大臣官邸)

横倉義武日本医師連盟委員長(日医会長)は四月十四日午前、総理大臣官邸を訪れ安倍晋三内閣総理大臣と面談を行った。この面談には長瀬清北海道医師連盟委員長(北海道医師会会長)、

カルウイング(固定翼機での患者搬送)について、今後北海道内において本格的に運航ができるよう要望を行った。安倍総理は、横倉委員長や長瀬北海道医連委員長らの説明に耳を傾け、北海道などの面積の大きな自治体や離島からの重症患者の搬送については固定翼機を使用した搬送の有効性に理解を示し、「今回の要望を受け、本格運航に向けてさらなる検討を行いたい」と応じた。

メデイカルウイング・ヘリコプター(回転翼機)ではなく、いわゆる普通の飛行機(固定翼機)に医療機器を搭載し医師や看護師が搭乗し、救命救急医療・高度専門医療を必要とする傷病者を医学管理下で搬送する飛行機。また、医師や看護師などを医療機関へ迅速に搬送することも目的としている。研究運航は丘珠空港(札幌市)と新千歳空港を基地空港として行われ、十二カ月の研究運航中に百三十四件の運航要請があり、そのうちの八十五件に出動した。

第15回・第16回医療政策研究会開催

平成29年度予算編成に向け 議論を開始



「第15回医療政策研究会」で挨拶する横倉義武委員長 (3月29日午前 東京都内)

三月二十九日、日本医師連盟と自民党の中堅・若手議員との医療政策に関する勉強会、「第十五回医療政策研究会」(会長 武見敬三参議院議員)が開催された。

当日は代理を含む七十九名の国会議員が出席し、日医連からは役員十三名と東京都医師政治連盟の役員が出席した。

冒頭、武見会長から次のような挨拶があった。

「平成二十八年度が始まるが、伊勢志摩サミット、参議院議員選挙が予定されていることから

ら、予算編成作業が一月程度前倒しで行われることが想定されている。そのなかで今日は次の三点について関係省庁の説明をいただいたのち意見交換を行いたいと考えている。①三年間で目安として一兆五千億円の社会保障費抑制に対する考え方、対応について、②医療機関における控除対象外消費税問題を本年十二月までに抜本的解決を図ることへの対応、③地域医療構想、地域包括ケアの本来のありべき姿をどのように目指すかの三点である」

続いて、横倉義武日医連委員長から昨年末の診療報酬改定率の決定について、医療政策研究会の先生方のご尽力に謝意が示され、次のような挨拶があった。

「平成二十九年度予算編成に

ついては、大きな社会保障制度改革が予定されていないなか、社会保障費を抑制することは大変厳しい状況である。また来年四月の消費税率一〇%へのアップが予定どおり行われるかについても注視し、適正な社会保障財源の確保にご協力をお願いしたい。日本医師会(日医連)の政策判断基準は「①国民の安全な医療に資する政策か、②公的医療保険による国民皆保険が堅持される政策か」この二点である。引き続き先生方のご理解とご支援をお願いしたい」

そのうち厚生労働省から「骨太の方針について」、②「社会保険診療における消費税の取り扱いについて」、③「地域包括ケアシステムの構築について」の三点についての説明があり、出席議員と日医連役員、厚生労働省との意見交換が行われた。

また、五月十日、第十六回の「医療政策研究会」が代理を含む約八十名の国会議員、日医連役員、東京都医連役員が出席し行われた。研究会では日医連(日医)から①「熊本地震における日本医師会の活動」、②「税制について(控除対象外消費税問題)」の説明と要望が行われ、そのうち各省庁から喫緊の政策課題について説明が行われた。

①「医学部定員と新設の現状」(文科省)、②「医師の需給について」(厚生省)、③「骨太の方針について」(厚生省)。そのうち意見交換が行われ、出席いただいた各議員や関係省庁に予算編成や社会保障政策における日医連の考え方を理解いただく機会となった。

自見はなこ

北九州後援会事務所を設置

五月六日、自見はなこ参与の地元、福岡県北九州市において、『自見はなこ北九州後援会事務所』開所式が行われた。当日は、公務多忙のなか、横倉義武日医師連盟委員長、松田峻一良福岡県医師連盟委員長、福岡県選出の衆議院議員、参議院議員、羽生田俊参議院議員、西島英利元参議院議員、北橋健治北九州市長をはじめとする地元市長、町長、福岡県議会議員、北九州市議会議員、地方議会議員、医師連盟関係、医療関係団体など二百名を超える支援者や関係者が出席した。

午前十時から宮司による、神事が厳かに執り行われた。そののちの開所式では自見はなこ後援会会長でもある横倉委員長から御礼の挨拶があり、続いて、松田福岡県医師連盟委員長、北橋北九州市長や各議員より自見参与への激励の挨拶があった。また福岡県選挙区の大家さとし参議院議員からも激励の挨拶があり、自見参与からは、力強い決意表明が行われた。最後にカンパロ―三唱を行い開所式はお開きとなった。

当後援会事務所は福岡県における自見はなこ後援会活動の拠点となる事務所であり、自見はなこ参与の出身県において、より活発な後援会活動を展開する目的で設置されたものである。

自見はなこ

北九州後援会事務所

〒802-0002 福岡県北九州市小倉北区京町3-15-15 辰巳ビル二階 (JR小倉駅南口より徒歩3分)
電話 093-513-0875



決意表明を行う自見はなこ参与 (5月6日)



挨拶する横倉義武委員長 (5月6日)



医療・介護・福祉でまちづくり



自民党参議院比例区(全国区)支部長
小児科専門医・認定内科医
日本医師連盟参与

自見はなこ

☀️ 誰もが安心して医療・介護・福祉が受けられる社会を
必要な医療・介護・福祉が過不足なく受けられる社会をつくります

☀️ 医療・介護・福祉の立場でまちづくりを
地域に密着した保健・医療・介護提供体制をつくり地域包括ケアシステムの構築を進めます

☀️ 子ども・子育て支援、女性の力がさらに発揮される社会を
子どもの心、健やかな成長、発達を真ん中においた
子ども・子育て支援を小児科医として邁進して参ります